

Web講演会 山口消化器内科学セミナー ～JAK阻害剤の適正使用を考える～

* 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入療法及び維持療法
(既存治療で効果不十分な場合に限る)

日時 2022年8月2日(火) 19:00～20:15

PROGRAM

座長 高見 太郎 先生 山口大学大学院医学系研究科
消化器内科学 教授

基調講演 19:00～19:15

「消化管トピックス(4)」

演者 橋本 真一 先生 山口大学医学部附属病院
光学医療診療部 准教授

特別講演 19:15～20:00

「難治性潰瘍性大腸炎内科治療の現状と問題点 ～改めて実臨床におけるゼルヤンツの位置付けを考える～」

演者 中村 志郎 先生 大阪医科薬科大学 第二内科 専門教授

Q&Aセッション 20:00～20:15

視聴方法

参加には事前登録が必要です。
右記の二次元コードまたは下記URLより事前登録をお済ませ頂くか、
弊社担当者までご連絡をお願い申し上げます。

<https://www.pfi.sr/20220802>

ファイザー(株) 金丸 和史 kazufumi.kanamaru@pfizer.com

申込サイトでご入力いただいた個人情報は、下記目的のために使用いたします。

【本講演会の管理運営、参加確認ならびに弊社情報提供の向上】

【今後、当社が主催・共催する講演会、セミナーなどに関する案内、参加依頼、結果集計報告、業務監査対応】

なお、当社の個人情報保護における方針はプライバシーポリシーをご参照ください。

<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/privacy/index.html>



参加方法

- ☑ インターネットに接続できる環境が必要になります (WiFiまたは有線LAN)。
- ☑ パソコン、モバイル内蔵マイクでコミュニケーションが可能となります。
- ☑ 専用のマイクスピーカーやヘッドセット等の使用で音声によりクリアになります。

Webex講演会アドレス

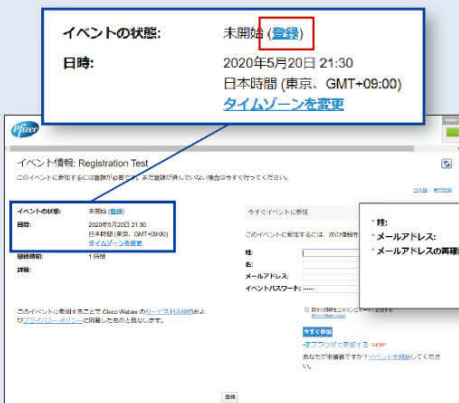
担当MRからメールでお知らせします。

ご視聴をご希望される場合は、担当MR宛のメール*に「ご施設」「ご所属」「お名前」を記載しご連絡をお願いいたします。

1. 登録

※ご参加いただくには参加登録が必須です。登録は期限までにお済ませください。

- MRから提供された「Webex講演会アドレス」をクリックします。
- 画面左「イベントの状態」にある[登録]をクリックします。



■ アドインのセットアップについて

あらかじめ設定をお済ませいただくことで当日の講演会参加がスムーズになります。
[ここをクリック]してアドインをインストールします。

Webex Events をセットアップ

インタラクティブイベントに参加するには、**ここをクリック**してお使いのコンピュータに Webex Events を設定してください。

UCF (Universal Communications Format) リッチメディアファイルを再生するには、専用のプレーヤーが必要です。イベントでこのタイプのリッチメディアファイルを表示するには、**リッチメディアプレーヤーの確認**に移動して、適切なプレーヤーがコンピュータにインストールされているかどうかを確認してください。

- 必要事項を入力し、[送信]をクリックします。



- [完了]をクリックすると登録が完了します。
- 登録を受領した旨のメールが送信されますのでご確認ください。
- 参加に関する情報は担当MRからご案内いたします。

2. 参加 (当日)

※参加に当たり、必ず先に付属機材を接続した状態でWebexに接続してください。

- MRから提供された「Webex講演会アドレス」をクリックします。
- 姓、名、登録メールアドレス、参加者パスワード (MRから提供) を入力します。
- [今すぐ参加]をクリックします。

このイベントに参加するには、次の情報を入力してください。

姓:

名:

メールアドレス:

イベントパスワード:

今すぐ参加

本講演会の音声は自動接続となります。

※聴講のみで口頭での質問は出来ませんので、ご了承の程、よろしくお願い申し上げます。

接続に関するお問い合わせは、お手数ですが、ご施設訪問の担当MRまでお願い申し上げます。

【Q&Aパネルで質問する】

注) 質疑応答の形式は講演会によって異なります。



【Q&Aパネル】



ご記載いただいた個人情報は下記目的のために使用いたします。

- 当日の芳名録作成のため
- 事前登録および参加用URLのメール送信のため
- 担当MRからの問い合わせ対応、参加人数把握など本企画の運営のため

* 本スキームはCOVID-19下特例対応のため、事前登録など個人情報のやりとり (案内状の送付以外) は原則メールを手段とします。